



福井県の新ブランド米 「いちほまれ」登場  
**ブランド米の『戦国時代』到来!**

今秋お目見えする新興ブランド米商戦が始まった。その第一弾が福井県の新ブランド米「いちほまれ」。満を持しての登場だ。全国各地でブランド米が相次ぎ誕生する中、コシヒカリを誕生させた福井県が自信と誇りを持って提供、全国ブランド米1位を目指す。

**日本「美味しい誉れ高きお米  
 『いちほまれ』今秋試験販売**

今年8月、コシヒカリ誕生の地、福井県がポストコシヒカリとして開発した新ブランド米「いちほまれ」のロゴ・パッケージを都内でお披露目した。金色の太陽をモチーフに、シンブルで飽きのこない時代を超えて長く親しまれる日本一の米にふさわしい「デザインにした」という。この命名には、日本一「いちほまれ」

味しい、誉れ「ほまれ」高き「お米」となっているという思いが込められていて、日本全国から寄せられた10万件を超える応募の中から選ばれた。西川知事は、「いま日本のほとんどの米がコシヒカリだがこれは60年前、福井県農業試験場が生んだすばらしいブランド米だ。その伝統と技術を受け継いだ福井県が日本一お



4月中旬、東京都内で開かれた福井県産の「いちほまれ」の名称発表会

いしいお米の決定版としてこの「いちほまれ」を、いよいよ今秋出荷する。今後永く50年、100年と日本の米、

地元を中心に販売を展開、本格的な市場デビューは来秋になる。  
 9月23日、首都圏の百貨店

福井の米を味わうスタートにしたい」と意気込む。  
 いちほまれは絹のような白さとつや、やさしい甘さ、粒感と粘りの調和のよさが特徴で、暑さに弱く倒伏しやすいコシヒカリの弱点をカバーした品種。初年の今年は、栽培技術が高い生産者131人が600トンの限定生産。高い基準を満たす米だけを出荷することで品質を厳格に担保し、首都圏や